

九条の会

2007・9・4

第 94 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303
TEL 03-3221-5075
FAX 03-3221-5076

創意ある活動で活動の発展めざす

アンケートへの回答から①

アンケート「私たちの『会』の運動と組織についてのレポート」には、第1次集約日の8月31日までに301の「会」からご回答をいただきました。全国交流集会に向けての準備と、今後の「九条の会」の運営にたいへん参考になります。アンケートでは、会の名称と結成年月につづいて、▽「会」の中心的活動と今までの印象に残る取り組み▽の輪を広げるための取り組み▽「会」のニュースと配布方法▽「会」の財政、について応えていただいています。以下、その抜粋です。

★地域の戦争体験を掘り起こす

【大阪 天王寺九条の会】(05年5月)
▽地域の戦争体験の掘り起こしとして45年3月・6月の大阪大空襲の体験を聞く会を開いてきた／地域の歴史を知る試みとして歴史ウォーク、歴史の勉強会を開きました。発足1周年、2周年には地域在住の音楽家の演奏も楽しんだ▽大きな催しの時には一般新聞にチラシを折り込み新しい参加者を得ている▽ニュースは毎回500部11号まで▽財政はカンパのみで苦しい。

◇事務局からお知らせ◇

- ▼第2回全国交流集会の参加申し込みの受け付けを開始しました。参加申込書はサイトを開き、申込書を刷り出してください。
- ▼事務局では、「私たちの『会』の運動と組織についてのレポート」の募集をつづけ、第2次集約の締め切りを9月20日とします。ご協力ください。

★地域の福祉協議会の企画にも参加

【秋田 かづの九条の会】(05年5月)▽06年1月から「憲法学習会」を毎月開催、19回を数えた／毎年9月末に開催される社会福祉協議会主催の「ふれあい広場」に「平和パネル展」を出品▽節目での映画会や講演会などのイベントにあわせ、賛同者、カンパを募っている▽300部のニュースを賛同者、幹事に手渡し。

★大看板で観光客にアピール

【神奈川 箱根九条の会】(05年10月)
▽今年6月と8月と2回にわたって行ったパネルを使った宣伝が印象に残るとりくみです。多くの観光客に励まされました。ち

なみにたたみ半畳大のパネル 10 枚を使い、つぎのように書いてあります。

【歓迎 憲法九条を守ろう 箱根九条の会】

▽週 1 回知り合いを訪ねて入会を勧めています。結成時 25 名の会員が現在 112 名。▽ニュース 120 部発行し手渡しと郵送で配布しています。

★賛同 984 名の連名よびかけチラシ

【大阪 九条の会・泉佐野】 (06 年 5 月)
▽準備に時間をかけ元市長、大学教授、医師・弁護士・文化人など幅広い著名人がよびかけ人になり立ち上げた／年に 1～2 回、50 人～150 人規模の「学習講演会」を行っている／「会」の賛同者を募り、現在 1500 人に達している。／そのうち 984 名の連名で「市民への賛同よびかけ」チラシを作成し、市内の新聞に 35000 枚折り込んだ。

★行政区内に 22 の地域の「会」

【東京 9条の会・杉並】 (05 年 12 月)
▽区内に平等な 9 条の会を多数作ることを心がけ現在 22 できている。／講演会、「ピース・トーク&コンサート in 杉並」、映画「日本の青空」上映運動などに取り組んでいる (800 人～1800 人参加) ▽原則として毎月 1 回、事務局会議と地区内 9 条の会連絡会議を開き、情報交換と相互支援活動に心がけている。／区民過半数の支持を得ることを念頭に多面的な活動を追及。▽ニュースは 1000 部、イベントの時には万単位で発行し駅頭配布や新聞折り込みもしている。▽行事のときの資料代やカンパで運営し現在のところ若干の黒字。

★戦争体験を生かして若い世代に

【神奈川 憲法九条を守る中原シルバーの会】 (04 年 10 月) ▽「私たち戦争体験者が先頭に立って訴えなくてどうする」とい

う論議をおこなって「会」を結成／ある私立高校から戦争体験を話してくれという申し出をうけ話をし、大勢の高校生たちが熱心に聞いてくれた／駅頭宣伝で高校生に訴えたら快く賛同署名してくれた。

★「憲法寺子屋」で車座トーク

【静岡 九条の会掛川】 (05 年 3 月) ▽「憲法寺子屋を通算で 7 回開催…基本は 1 年に一度は記念講演会、日常的には 2～3 カ月に一度位の割合で「車座トーク」と銘打って、「憲法寺子屋」を靖国問題や自民党新憲法草案などの勉強会。スタンスは 9 条への温度差を認め合い、「改憲論」派も参加できること。最近では講師を招かず自分たちで話し合う寺子屋になっている／昨年秋、「会」として市民にアピールするチラシをつくることになった。内容は「賛同者のつどい」を開いて話し合い、特定の考えを市民に教える形をとるのでなく、『会』に参加する私はこう考えている」とアピールすることになった。▽「賛同者通信」を 2 月に 1 回発行、これまで 19 号。1 回 350 部程度。▽従前は憲法寺子屋にカンパ箱をおいていたが、昨秋から郵便振替口座を設け「賛同者通信」に同封。昨秋以来約 36 万円。

★地域密着のテーマが好評

【東京 井の頭沿線九条の会 浜田山】
(05 年 2 月) ▽約 2 カ月に一度例会…地域密着テーマは会員に好評 例「ものを言う自由裁判に取り組む一地元女性教師」、「高井戸中に、なぜ、アンネのバラがあるの？」等▽例会の度に約 2000 枚を地域に配布、駅前で宣伝／教育委員会の後援がとれた企画は町内会の掲示板に貼れる▽例会収入 (資料代 200 円) + 個人カンパ

★小学校区を基盤に多彩な活動

【新潟県 憲法九条五十嵐の会】(05年12月)▽小学校区が対象地域。校区内の大学教授、キリスト者、住職、元県・市議、喫茶店主など26人がよびかけ。毎月よびかけ人会議を開き、3～4カ月に1回、講演と映画のつどい、DVD上映会、うたごえ喫茶、バーベキューなど。参加は50人程度。▽財政は行事のたびごとにカンパ。

★学生の参加増やす道をさぐる

【山形大学九条の会】(05年2月)▽学内での学習会やビデオの上映会、大学祭での講演会など。07年4月には憲法改正をめぐる「シール投票」を学内でおこない、予想外に多くの学生(約300人)の参加を得ることができた▽大学生の参加を得ることができずに苦心している。チラシやポスター、看板で催事の周知度をあげても、「憲法」「改憲」は“あっちの学生(ひと)のやっていること”と思われているよう。ゼミの先生から薦めていただいても、なかなか参加にまで結びつかない。この壁を乗り越えるには話題や講師の重要度・知名度の高さをより効果的に宣伝すること(特に大学祭)や、どんな人でも参加できるような形態で敷居を低くすること(シール投票など)が必要▽会費制で教職員500円、学生200円。

★地元民中心に若者参加の特別企画も

【東京 日野市中部地域九条の会】(05年3月)▽05年7月「みんなで平和と憲法を語り合うつどい」50名参加。地元の人の朗読、講演、参加者からの発言で感動的な集会/06年5月「第2回みんなで平和と憲法を語り合うつどい」45名参加。若者中心の会とし高校生、大学生からの朗読、メッセージ、参加者からの意見や質問。若者と

年配者との誤解や行き違いがとれた。▽参加する人をどう広げるかが難題。10月に交流会を開き、知恵を出し合いたい。全国交流集会にも期待▽募金でまかなう。

★各分野から憲法学習深める

【神奈川 本牧・山手九条の会】(05年9月)▽毎年5月に「横浜大空襲を語るつどい」を開き、その体験を直接聞いて語り合う/「キリスト者と9条」、「教育と9条」、「マスコミと9条」など、それぞれの分野から憲法について学習を深める。▽行事はチラシやポスターで宣伝するほか、町内会や商店会、各種団体を訪問し協力要請をしている▽2月に1回程度のニュースは300部ほど手渡しと郵送。▽年に2回ほど郵便振替でカンパを要請、イベントでカンパの訴え。

★管理職含む全構成員によびかけ

【大阪 西淀川高校九条の会】(07年7月)▽今年7月の結成学習交流集会には23(うち青年7)名が参加。結成賛同者は職場の7割近くにあたる42名。▽結成にあたり管理職を含むすべての構成員に声をかけた。▽ニュースの発行を開始し、すべての構成員に配布。

★3つの「語る」を大切に

【東京 平和と憲法を語る大島の会】(03年2月)▽「九条の会」より先に結成。3つの「語る」(思いを語る、語り合う、語り継ぐ)を大切にして、学習を中心に活動。「森住卓写真展」、「小森陽一講演会」等の大イベントには親子づれ、若い人も多くの島民の参加があった。▽ニュースをつうじて参加よびかけ。年のはじめと8月15日には新聞折り込み(約4000部)▽通常ニュースは3ヶ月に1回程度、100部。手渡し。